

## みんなねっと史上初「精神障害者の交通運賃に関する請願署名」へ ご協力いただきましてありがとうございました

精神障害者は、障害のない人に比べ、格差があると同時に、他の二障害の人に比べても格差がある。その象徴的なものとしてJR等交通運賃問題を一昨年から取り組んできました。

2014年度にJR等運賃割引における格差是正プロジェクトチームを立ち上げ、最初に行ったのが交通運賃に関する全国アンケート調査でした。この集約結果について2015年4月27日には厚生労働省記者会見室で記者会見を行ない、これを皮切りにみんなねっと史上はじめての全国一斉請願署名活動をスタートさせました。この中で、幅広い団体・個人の方にご協力の依頼をいたしました。

本年2016年3月15日国会請願中央行動を行ない。午前中両議院の43名の国会議員（国土交通委員が中心）に請願予定についての要請。また、午後に参議院会館で「障害者差別解消法で明日を開く」をテーマに院内学習会を開催しました。更に、場所を前年同様の厚生労働省記者会見室で、みんなねっとだけでなく精神障害の関連8団体による合同会見を開き、多くの団体のご協力が目にみえるかたちとなり、最終版の署名活動を展開してまいりました。

また、当会ホームページ等から用紙をプリントし、一筆二筆でも郵送で届けられる自主的な署名も多く、みなさんの自主的なご支援を頂けたことは大きな励みとなりました。誠に感謝いたします。

その結果、去る5月13日署名総数**62万4,155筆**を要請団**162名**（17グループ編成）で、紹介議員**179名**に請願要請してまいりました。（募金約180万円）

今後、請願採決されることを強く望みます。万一不採択となることがあっても、総務省行政評価局への斡旋要請や地元私鉄会社などの交渉にもつなげていきます。

精神障害者家族は社会や情報から孤立しているといわれていますが、それは家族だけではなく、日本における精神障害への認識自体がまだなお大きな後れをとっているからです。

今回の署名活動を通じて、精神の障害に対する障壁が依然とあることを再認識いたしました。精神障害者の人権を守り発展させていくために、みなさんと連帯することをお約束し、署名活動ご協力への感謝のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

（公益社団法人全国精神保健福祉会/事務局長小幡恭弘）

